

## CASE 2

### 株式会社アークス

人事企画グループ

萩原 秀 さん

#### Profile

設立:1961年

従業員数:155名(正社員125名/パート社員30名※8時間勤務)

事業内容:北海道・東北・北関東のスーパーマーケット事業会社10社  
及びその関連会社1社の親会社。

グループ全体の統括及び戦略の策定を行っている。



## イキイキと自分らしく働ける 職場を目指して

弊社では、2019年にグループ全体で「ダイバーシティ推進プロジェクト」を立ち上げ、私も設立当初からメンバーとして参画しています。このプロジェクトでは、ボトムアップで意見を集め、ワークライフバランスや女性活躍を進めています。また、2025年までに厚生労働省の女性活躍認定マーク「えるぼし」3つ星の全社取得を目指しています。

また、ダイバーシティの意識醸成のために、年2回「rashiku」という社内誌を発行し、店舗従業員にも周知をしています。

「えるぼし」取得を目指すことで、女性管理職比率の向上や残業時間の削減、育休取得率の向上など、働きやすさを高めていきたいです。小売業は慢性的に人手不足といわれ、原因の1つが業務の属人化なので、そういった課題を解決していくためには、従業員の声を取り入れた改善策、例えば動画マニュアルなどが有効と考えています。

自分の声が活かされ、主体的に働くことによって、生産性の向上や人材確保、そして企業としての持続的な成長、さらにお客様や従業員を含めた地域の活性化にもつながると思います。1人ひとりの従業員が想いやパワーを持っているので、役職にとらわれず、意見を提案しやすい風土を築いていきたいです

## イクメンを目指し、 男性育休の取得第1号に！

妻の産後3か月目に、5日間の育児休暇を取得しました。男性従業員は、育休取得になかなか踏み出せない状況でしたので、私がある一歩を踏み出すことでみんなの背中を押せたらと、社内初の男性育休取得者となりました。育休中は、妻が家事や育児から離れて自由に使える時間を確保すべく、子どもと2人で過ごす時間を積極的に作りました。家事や育児のやり方は、自分の母親や義理の姉から教わったり、Instagramで情報を得たりして身に着けました。絵本の読み聞かせが得意で、今はすっかり自分の担当です。家事も育児も全力で楽しんで、誰からも理想とされる“イクメン”を目指していきたいですね。

## 仕事との両立は規則正しい生活から

仕事でも家庭でも良いパフォーマンスができるよう、健康管理を大切にしています。そのため、毎朝5時半には起きるなど、規則正しい生活を心がけています。また、妻や子どもが起きる前にやりたいことを済ませておけば、その後の家事や育児にスムーズに取り掛かれるので、自分の時間を確保できる早朝は、とても貴重な時間だと感じています。

私の個人的な目標になりますが、「この業界を希望する人を増やしたい」という思いがあります。そのためにも、育休をはじめ、男女共に働きやすい環境づくりをどんどん進めていきたいと思っています。

### ROLEMODEL

株式会社アークス 人事企画グループ

## 荻原 秀 さん

家族構成：妻、長男

株式会社アークス新卒1期生(2015年入社)、  
男性育休取得第1号。社会保険労務士。



## Q & A

### ロールモデルの方に、ワークライフバランス、アンコンシャス・バイアスや 仕事の取り組み方について訊いてみました！

Q

ワークライフバランスや家庭参画に向けてあなたが気をつけている無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)を教えてください。

「性別役割分業」を意識して行動しています。  
例えば、料理は女性がするものと考えられがちですが、その様な偏見を捨て、男性側(私)から積極的に関与するように心掛けています。

A

Q

仕事のやり方であなたが具体的にしている取組や工夫を教えてください。

時間内に業務を終わらせるため、業務の優先順位付けを徹底し、無理して当日中に詰め込まない工夫をしています。

A